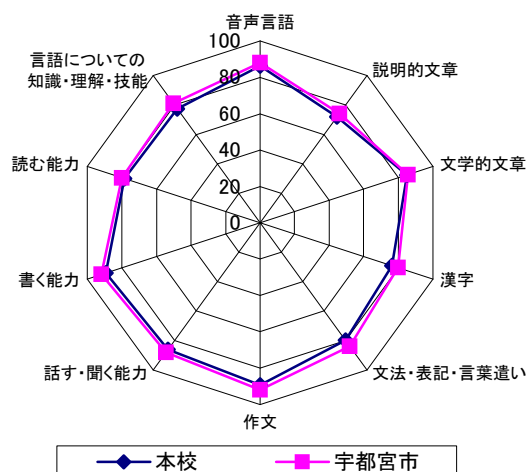


宇都宮市立鬼怒中学校第1学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	86.3	88.1
	説明的文章	71.9	74.3
	文学的文章	85.0	85.6
	漢字	76.2	79.8
	文法・表記・言葉遣い	80.0	83.9
	作文	89.2	91.9
観点別	話す・聞く能力	86.3	88.1
	書く能力	89.2	91.9
	読む能力	78.5	79.9
	言語についての知識・理解・技能	77.5	81.1



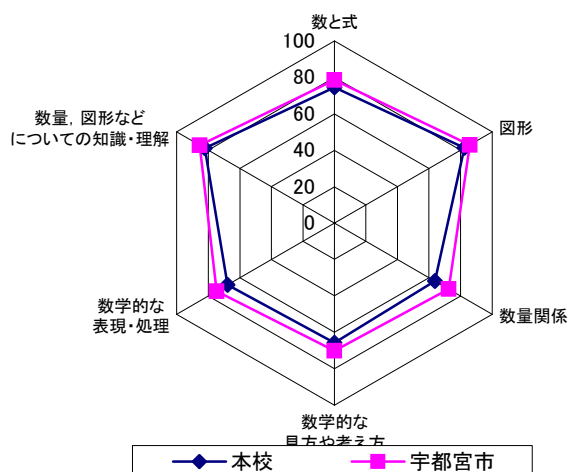
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (86.3%)	昨年度より3.9ポイント上昇し、概ね満足できる状況である。しかし、市の平均をやや下回っており、さらなる努力が必要である。	授業中の「聞く・話す」という活動の機会を増やし、聞き取りテストなどの工夫もしていきたい。
説明的文章 (71.9%)	昨年度より21.4ポイント上昇し、概ね満足できる状況である。小問別に見ると、文脈に即した内容の理解や文章の要旨の捕らえ方が不十分である。	文章の段落ごとの要点の捉え方や筆者の主張のつかみ方などを丁寧に指導していきたい。
文学的文章 (85.0%)	昨年度より20.5ポイント上昇し、概ね満足できる状況である。小問別に見ると、語句の補充や登場人物の人物像を捉える問題で市の平均を上回っていたが、心情の捉え方の理解が不十分である。	場面の展開に即した内容理解ができるようにするとともに、登場人物の心情描写を丁寧に扱うよう指導を工夫していきたい。
漢字 (76.2%)	昨年度より18.3ポイント上昇し、概ね満足できる状況である。小問別に見ると、中学校1年生の漢字の書き取りの誤答が多い。	定期的に漢字の小テストを実施し、定着を図るとともに、漢字の成り立ちについての学習を通し漢字に親しむ機会を増やしていきたい。また、新出漢字の練習を宿題として出し、定着を図っていく。
文法・表記・言葉遣い (80.0%)	昨年度より0.7ポイント上昇し、概ね満足できる状況である。小問別に見ると、文節の分け方の理解が不十分である。	昨年同様、文法や語句に関する知識の積み重ねを着実にする指導を増やし、練習問題を数多く取り入れた指導を工夫していきたい。
作文 (89.2%)	昨年度より1.4ポイント下がっているものの、正答率が89%を超えており、概ね満足できる状況である。しかし、市の平均をやや下回っており、さらなる努力が必要である。	学級での日記指導とも関連させながら、引き続き書く機会を多く持ち、作文力が身につくよう指導を継続していきたい。

宇都宮市立鬼怒中学校第1学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	74.4	78.5
	図形	82.4	85.7
	数量関係	63.6	72.4
観点別	数学的な見方や考え方	65.7	70.2
	数学的な表現・処理	67.8	74.7
	数量、図形などについての知識・理解	82.2	85.4



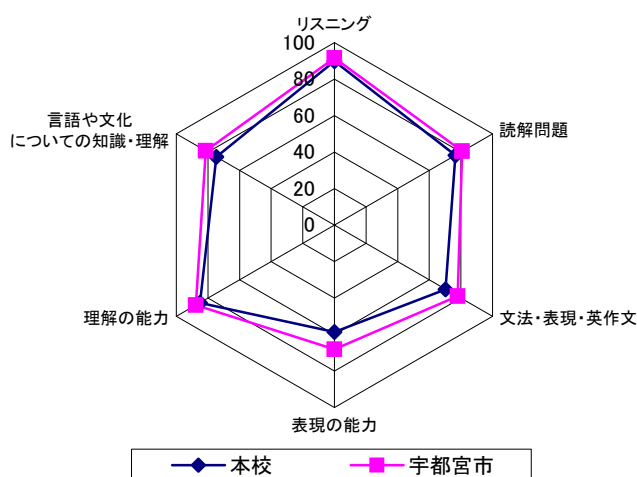
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式 (74.4%)	昨年度と比べ9.3ポイント上昇しているが、あまり満足した状況とはいえない。 文字式の計算の仕方や代入の考え方を理解していない生徒が多い。	計算力向上のため、単元ごとに補習を実施したり、基本的な内容を繰り返し実施したりすることで、計算に必要な知識と方法の定着を図っていききたい。 定期的実施している「計算テスト」との連携を図り、計算問題を宿題として出すなど、知識の定着を図っていく。
図形 (82.4%)	平均正答率が80%を超えたとはいえ、市と比べるともう一歩である。 対象についての知識が不十分である。	1学年の図形領域の内容は基本的な内容が多いので、対称については、体験を通して身につけられるよう、指導方法の工夫に力を入れていきたい。
数量関係 (63.6%)	少しずつ平均正答率は上がってきているが、まだあまり満足した状況とはいえない。 表・式・グラフの関係が整理されておらず、またそれぞれを求める方法も身につけていない。	身近なもの結びつけて、数量の変化に気づかせるとともに、それを自分の力で表や式、グラフで表そうとすることで理解が深められる教材の研究に力を入れていきたい。

宇都宮市立鬼怒中学校第1学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	リスニング	89.8	91.5
	読解問題	76.4	80.8
	文法・表現・英作文	70.4	77.8
観点別	表現の能力	58.7	68.0
	理解の能力	85.1	87.7
	言語や文化についての知識・理解	74.8	81.5



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
リスニング (89.8%)	昨年度より8.7ポイント上昇し、概ね満足できる状況である。しかし、市の平均をやや下回っており、対話の内容把握においては昨年度よりも減少しており、満足した状況とはいえない。	ALTやCDを効果的に活用した授業を今後も継続していきたい。内容把握に関しては、ポイントを提示してから学習を進めたり、短文の概要を把握する訓練を継続していきたい。
読解問題 (76.4%)	昨年度より8.6ポイント上昇しているものの、平均正答率が80%を下回っている。特に、対話文の空所選択の問題において不十分な状況が出ている。	内容を読み取るポイントを提示し、把握した内容の確認をていねいにおこなう指導を継続していきたい。また、小テストを定期的実施し、できなかったところについてはていねいに指導することで知識の定着を図ってきたい。
文法・表現・英作文 (70.4%)	昨年度より23.7ポイント上昇しているものの、平均正答率において市の平均を7.4ポイント下回っており、特に和文英訳において不十分な状況が出ている。	あらゆる機会をとらえて英語で表現する活動を継続するとともに、基本文が定着するような活動を工夫していきたい。短文を書く機会を増やしていきたい。また、単語練習を宿題として出し、英文を書く基礎の定着を図ってきたい。